



本物力こそ桑名力

桑名市ゼロカーボンシティ宣言

近年、地球温暖化の影響とみられる異常気象によって、毎年のように地球規模で甚大な災害などが発生しています。そのため、私たちの取巻く環境は大きく変化し、生命や財産を脅かす「気候危機」の状況にあります。

2015年に合意されたパリ協定では、「産業革命前からの平均気温上昇の幅を2度未満とし、1.5度に抑えるように努力する」との目標が国際的に広く共有され、その実現には2050年までに温室効果ガスの実質排出をゼロにすることが必要とされました。

桑名市においては「本物力こそ、桑名力」を基本理念とし、「快適な暮らしを次世代にも誇れるまち」の実現のため、取り組んでいるところであり、SDGsの取り組みと同様、「誰一人取り残さない」持続可能なまちづくりを目指しています。

本市は、市民の命と暮らしを守り、未来を創る子どもたちの為に、再生可能エネルギーの地産地消を始め、従来の発想にとらわれない積極的な対策を行いながら、市の環境と経済の好循環を生み出す様々な環境施策を推進します。

2050年までに本市からの二酸化炭素の排出実質ゼロを目指し、ゼロカーボンシティの実現に向けて、市民や民間事業者等と連携し取り組むことを、ここに宣言します。

令和3年3月24日

桑名市長 伊藤 徳宇



桑名市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。